

統合により廃校になる校歌を歌集など活用、 受け継がれる「かたち」にすることを求める請願

請願の趣旨

「町田市新たな学校づくり推進計画」では学校統合が進められ、これにより多くの学校が廃校となり、その歴史と共に校歌が失われます。

学校統合は未来の新しい学校づくりを進める一方で、今ある学校を失うことが当事者である子どもたちの心に大きな負担をかけています。

子どもたちは、愛着のある校歌に対して「今ある校歌を歌うことで受け継いでいきたい」という願いを持っています。その校歌をいつでも歌える環境を整備することは、子どもたちが学校統合という変化を乗り越えるための大きな力になると考えます。

よって、子どもたちの思いを形にし、歴史と文化を次世代に継承するため、廃校となる校歌を歌集として保存・活用する環境を整備されるよう強く請願いたします。

請願理由

1. 失われる校歌の数の大きさ: 町田市では、今後 41 校が廃校となる見込みであり、41 曲の校歌が失われる予定です。
2. 歴史的・文化的価値の保全: 例えば、鶴川第三小学校の校歌は、詩人・谷川俊太郎氏作詞、作曲家・山本直純氏作曲であり、校名が入っていない稀有な作品として、児童、卒業生、保護者、地域にとって長きにわたり大切にされてきました。このような校歌の文化的・歴史的価値を散逸させてはなりません。
3. 子どもの心のケア: 新しい学校づくりを進める上で、今ある学校が育んできた子どもたちの学校への思い、「大切にしたい」という実感を尊重することが、統合による心の負荷を軽減することにつながると考えます。
4. 継承環境の実現: 今取り組まれているVR動画、インターネット利用による保存閲覧だけでなく、学校の中で「歌集」の形として受け継ぎ、いつでも歌える環境を整えることで、子どもたちの「継承したい」という願いを具体的に実現することができます。

子どもたちのこえ

ぼくたちは、「歌はともだち」につる川第三小学校の校歌をどうにかしてのこしたいと思いました。なぜかという、たにがわしゅんたろうさんがつくったこうかの中で学校名が中にはいっていないことから、つる川三小以外の人たちにもうたってもらえるようにしたい。

「歌はともだち」にのこらなかつたら、もうだれもうたわなくなってしまうけど、もしのこることができたら、つる三小の校歌を共に歌い続けることができる。〇年間校歌をうたい続けたからこそ、ぼくたちは校歌にこころのこりがあるので、「歌はともだち」にのせたいです。

請願項目

1. 今年度、廃校となった本町田東小学校、本町田小学校、南第二小学校、南成瀬小学校の校歌を、楽譜、歌詞、を町田市の歌集として副教材とするなど活用可能にすることを求めます。今後、廃校となる学校も同様の対応をとることを求めます。